

[学会]

第791回 千葉医学会例会

第22回 麻酔科例会

第44回 千葉麻酔懇話会

と き：昭和63年12月11日（日）午前9時30分

ところ：千葉大学医学部附属病院3階 第3講堂

3. Goldenhar 症候群の麻酔経験

青江知彦, 高地哲夫, 水口公信
(千大)

Goldenhar 症候群は小顎症, 舌の後退, 相対的な巨舌症などの上気道形態の異常の為に上気道閉塞が起こりやすく, 睡眠時無呼吸の発生や麻酔管理上, マスク換気, 喉頭展開, 経口挿管などの困難が予想される。今回, Goldenhar 症候群の1例に対し respiratory inductive plethysmography, pulse oximetry などのモニター下に吸入麻酔薬により緩速導入し, 筋弛緩薬なしに自発呼吸下に挿管し全身麻酔を行い, 良好な結果を得た。

4. 高度の下顎変形を伴う顎関節拘縮症例の麻酔経験

清水俊行, 高地哲夫, 水口公信
(千大)

発育不全による高度の下顎変形を伴った顎関節拘縮症例の顎関節援動術, 下顎前進術の麻酔を経験し, 手術前後での睡眠時呼吸パターンを観察した。術前は上部気道に明らかな狭窄を認め, 閉塞型の睡眠時無呼吸がみられた。手術後は上部気道の狭窄は改善されたが, 術前同様の睡眠時無呼吸がみられた。術後睡眠時の上部気道閉塞は, 長期の下顎変形による上部気道開通性維持機構の不安定が原因と考えられた。

5. 挿管直後の無気肺発生から肺水腫に移行した1症例

五十嵐治, 金子 譲, 小山 亨
一戸達也, 中久喜喬
(東京歯科大歯科麻酔科)

挿管直後無気肺から肺水腫に移行した症例を経験したので報告した。

患者は17歳女性で顎裂閉鎖術を行う予定でフェンタール, ドロペリドール, チオペンタール, SCC にて導入,

経鼻挿管を行った。その直後左側全肺野の無気肺が発生し4時間後には肺水腫に移行した。

気管支ファイバーの観察では異物は認めなかった。幼児期の喘息の既往, 術後 DLST により判明したラボナール®に対するアレルギー反応陽性, 気管支の形態異常などがあったが無気肺発生の原因究明はできなかった。

6. 一児子宮内胎児死亡を合併した双胎患者の帝王切開術中にアナフィラキシーショックを起こした1例

磯野史朗 (県西総合)

妊娠37週に一児子宮内胎児死亡, 一児子宮内仮死のため緊急帝王切開術を施行し, 胎児娩出後にアナフィラキシーショックを起こした症例を経験した。ショックの原因として, 薬物 (マレイン酸メチルエルゴメトリン) と, 死胎児由来の組織トロンボプラスチンが考えられた。子宮内胎児死亡の麻酔管理では, DIC や敗血症などとともにアナフィラキシーショックの可能性も考慮する必要がある。

8. 肺全摘症例の検討

篠塚典弘, 阮 秀山, 河崎純忠
吉田 豊
(千葉県立がんセンター)

肺全摘症例19例について, ^{99m}Tc を用いた左右別肺血流シンチグラフィによる術前の左右別肺血流比をもとに検討を加えた。切除側肺血流比と, %肺活量及び閉塞前後の肺動脈圧差との間に有意な相関が得られた。切除側肺血流比と閉塞前, 閉塞後の肺動脈圧とは相関が見られず, 肺酸化能との間にも相関は見られなかった。切除側肺血流比が, 27%以下の患者では, 肺高血圧の発症する危険は低いと考えられる。